

子ども読書支援センターニュース No.143

2016.5.1

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★春のスペシャルおはなし会

○日時：平成28年5月8日（日）11：00～11：40 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○実演：「エブパネ」のみなさん ○内容：エプロンシアター・パネルシアター等

○対象：幼児（3歳児～5歳児・要申込み） ○定員：30名程度（先着順）

★4月のおはなし会で使った本

『ちょうちょうひらひら』 まどみちお／さく にしまきかやこ／え こぐま社 2008

『おおきくおおきくおおきくなあれ』 まついのりこ／脚本・絵 童心社 1983

『うさこちゃんのたんじょうび』 ディック・ブルーナ／さく 石井桃子／やく 福音館書店 1982(2010)

『おいしいおいしい！』 ひろさわさえこ／脚本・絵 童心社 2006

『ちいさなねこ』 石井桃子／さく 横内襄／え 福音館書店 1967

★新刊児童書閲覧会

○日時：平成28年5月14日（土）13：30～15：30 ○場所：山口県立山口図書館

○対象：公共図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア等 ○定員：30名（要申込み・先着順）

★読書ボランティアリーダー養成講座

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：子ども読書ボランティア、公共図書館職員、学校図書館関係者等

○定員：60名程度（要申込み・先着順） ○申込方法：各開催日の1週間前までに、電話、FAX、Eメールで申込み ○参加費：無料

第1回

○日時：平成28年5月28日（土）13：00～15：00 ○講師：横山 眞佐子氏（「こどもの広場」代表）

○内容：「一人読みのためのブックトーク」～本から離れる時期にもう一度～

第2回

○日時：平成28年6月11日（土）10：30～12：30 ○講師：中村 李衣氏（ノートルダム清心女子大学教授）

○内容：「あなた仕様の絵本講座」～あなたはどこで誰と読みたいですか～

第3回

○日時：平成28年6月25日（土）13：00～15：00 ○講師：中村 佳恵氏（「ぶどうの木」代表）

○内容：「昔話絵本を読み比べてみよう」～「おおきなかぶ」「かさじぞう」を中心に～

★「こどもの読書週間」展示「読み継がれる石井桃子の絵本・児童書・翻訳本」

○期間：平成28年4月1日（金）～平成28年5月29日（日）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

＜絵本－乳幼児から＞

『ぞうさん』 まどみちお／詩 にしまきかやこ／絵 こぐま社 2016.3 ¥900

「ぞうさん ぞうさん おはながながいのね」幼い子どもから大人まで誰もが一度は歌ったことのある、山口県出身の詩人まどみちおの童謡「ぞうさん」。シンプルで柔らかい絵によって、童謡として口ずさむのとはまた違った新しいイメージが広がる。のびのびと育つ子象の喜びが伝わってくる可愛い絵本。読み聞かせにも向く。

＜絵本－3、4歳から＞

『かくれんぼ 朝鮮半島のわらべうた』 池貴巴子／文・絵 福音館書店 2016.3 ¥1200

「おばあちゃんちでかくれんぼ。かいばいば、じゃんけんぼ。」女の子が「おに」になって百を数える。もーいっかい。まあだだよ。ハスの葉やキムチがめの裏など、子ども達いろいろの所に隠れ…。古くから朝鮮半島で歌われてきたわらべ歌を題材にした、朝鮮神時代の民俗画、民画で描かれた絵本。表題作他、「おいしそうだな やあむにやむ」「ゆきのうた」も収録。

『しおちゃんとこしょうちゃん』 ルース・エイズワース／さく こうもとさちこ／やく・え 福音館書店 2016.2 ¥900

しおちゃんとこしょうちゃんは双子の子猫で、何をしても一緒。ある日、競争して庭の高い木に登ったら、下りられなくなった。鳥や飛行機に助けを求めても、誰も来てくれない。しかし夜になると、母さん猫が迎えに来てくれ…。やんちゃ盛りの子猫の行動のおかしみと、母さん猫の温かみが読者の心を満たす。『こずめぼうけん』等の作品で知られる作者による一冊。

＜絵本－5、6歳から＞

『空から見れば』 ユベル・エルザザリィ／作 リタル・アミール／絵 樋口範子／訳 ワールドライブラリー 2016.2 ¥1500

もし、高層アパートの窓から飛び出して空から見たら、家々や町の通りはどう見える？空飛ぶドラゴンと一緒に、空の旅に出かけよう。遠くから地上を見ると、何もかもが小さくなっていくね。では、もっと離れていくと…？子ども達を世界や宇宙の旅へ誘い、地図がどのように作られ、人々の役に立つのかを教える、想像力に溢れたイスラエルの絵本。原書はヘブライ語。

＜絵本－小学校中学年から＞

『ホッキョクグマくん、だいじょうぶ？ 北極の氷はなぜとける』 ロバート・E. ウェルズ／さく せなあいこ／やく 評論社 2016.1 ¥1400

北極の温度が上がり、夏には、これまで以上に氷がとけているというデータもある。ホッキョクグマがアザラシをとるのが難しくなるし、流氷を渡るのも大変だ。どうして昔より暖かくなっているの？まず、太陽の働きから考えてみよう…。知っている生き物の話題から始まり、世界中で起こっている環境問題が、わかりやすく描かれた、地球温暖化について学べるアメリカの科学絵本。

<読み物一低学年から>

『きょうはかせでおやすみ』 パトリシア・マクラクラン/ぶん ウィリアム・ペン・デュボア/え 小宮由/やく 大日本図書 2016.2 ¥1400

風邪をひいたエミリーは学校を休んでパパと一日家で過ごすことに。優しく接してくれるパパに、お気に入りのぬいぐるみを探させたりスープをねだったりと、お休みを満喫する。すると次の日はなんとパパが風邪をひいてしまい…。絵本から読み物へと移行する時期の子どもたちへ読ませたい幼年童話を翻訳した「こころのほんばこ」シリーズの1冊。

<読み物一中学年から>

『ぼくのなかのほんとう』 パトリシア・マクラクラン/作 若林千鶴/訳 リーブル 2016.2 ¥1300

少年ロバートは、愛犬エリーと共に夏休みの2ヶ月間、マッディおばあちゃんちで過ごすことになった。音楽家の両親が、演奏旅行に出かけて留守をしてしまうからだ。本当はママと一緒にいたいのに、いつもそんな本音を伝えることを遠慮してしまうロバート。しかし、マッディと過ごす中で「僕の中の本当」に気づくことができる。母と息子の関係を描くひと夏の成長物語。

<読み物一高学年から>

『うるうのもり』 小林賢太郎/絵と文 講談社 2016.2 ¥1600

「あの森に行っちゃいけない。うるうというおまじけが出ますから」転入先の先生は言った。でもやっぱり気になる僕は一人でうるうの森へ出かける。そこで出会った自称うるう人は、「いつも自分一人の分だけ足りない。いつも自分一人だけが余る。でもないはずの1が世界のバランスをとるんだ」と訴える。芸人である作者がおくる、おかしくて、美しく、少し悲しい、ある友情の物語。

<読み物一中学生から>

『ラミッツの旅 ロマの難民少年のものがたり』 グニツラ・ルンドグリーン/作 きたたいえりこ/訳 さ・え・ら書房 2016.1 ¥1400

コソボ紛争でドイツに亡命したロマ人の一家。ドイツ生まれのラミッツが12歳になり、漸く生活が安定した矢先、永住許可申請が却下され、一家は戦争中のコソボへ強制送還。ラミッツは、不合理な措置を受けるロマ人のことや自分たち家族の歴史を知る。難民としてスウェーデンにたどり着いた一家は…。作者が教師として関わった、ロマ人の生徒をモデルにした実話に基づく物語。

<ノンフィクション一小学校低学年から>

『せいそう車』 五味零/作 市瀬義雄/写真 岩崎書店 2016.1 ¥2600

毎日の生活になくてはならない清掃車。そのはたらきや仕組み、ごみの回収から焼却、最終処分場までのごみの埋め立てまでの様子を、多くの写真で紹介した乗り物写真絵本。易しい文章で説明され、読み聞かせにも向く。子どもたちに身近な乗り物のはたらきを追いかける写真絵本シリーズ。他に、工事車両、船、バス、消防車の全5巻。小1の国語科、小4の社会科で活用可。

<ノンフィクション一小学校中学年から>

『自転車ものがたり』 高頭祥八/文・絵 福音館書店 2016.4 ¥1300

今、世界に8億台以上あり、世界中の人が利用している、軽くて丈夫で、楽に走れる自転車。200年前に自転車の元祖ラウフマン・ネ（速歩器）が発明されてから、ペダルが付き、サドルが付き、より快適により速く走るように改良されてきた様子を、詳細な絵と解説で紹介。1900年代の奇想天外な発想は興味深い。「月刊たぐさのふしぎ」から生まれた1冊。

<ノンフィクション一中学生から>

『保健室の恋バナα』 金子由美子/著 岩波書店 2016.3 ¥840

保健室で長年、中学生と向き合ってきた著者が、中学生たちの悩みや成長を支援してきた具体的な事例の数々を紹介。恋愛、同性愛、カラダのニオイ、ネットや性、親の離婚・再婚等、保健室での子どもと先生の本音の会話を「中坊語」で再現。たぐさの子どもたちのつぶやきも「掲示板」で紹介する。岩波ジュニア新書。

『進路・将来を考える 中高生のためのブックガイド』 佐藤理絵/監修 日外アソシエーツ 2016.3 ¥4200

日々の学校生活や部活動に関するものから、志望学科と将来の職業との関連性を探るものや大学入試の小論文対策まで「中高生に薦めたい本」を厳選したブックガイド。監修者の勤務する学校図書館で貸出利用の多い資料を優先し、2015年出版のものも含めた比較的新しい図書609冊を掲載。主要図書には書影を添え、内容、目次を紹介。書名・キーワード検索付き。

【県内の動き】

★教市立明木図書館 平成28年4月8日オープン！

○明木小学校と旭中学校の併設校舎と廊下でつながっている、学校図書館と一体化した図書館。学校図書館コーナーと一般図書コーナーなどがある。○開館時間：9：00～17：30 休館日：月曜日・祝日他 蔵書数：約2万9,000冊

★夜の図書館へようこそ！

○日時：平成28年5月5日（木・祝）17：30～20：00 ○会場：長門市立図書館
○内容：夜のおはなし会、図書館でゲーム、親子読書タイム ○対象：3歳以上小学生までの子どもさんとその家族
○定員：10家族（要申込・先着順）参加費無料 ○照会先：長門市立図書館（TEL：0837-26-5123）

★第20回みんなおいでよ子ども春まつり

○日時：平成28年5月7日（土）14：00～16：00 ○会場：宇部市立図書館 2階講座室
○内容：幼児向け朗読劇、ブラックパネルシアター、人形劇、手品、腹話術、ストーリーテリング他
○照会先：宇部市立図書館（TEL：0836-21-1966）

★おはなしの会（おまつりかみしばい）

○日時：平成28年5月14日（土）10：30～14：30 ○会場：ふれあいうずしおまつり会場（大島総合センター）
○内容：紙芝居や絵本の読み語り、工作 ○照会先：柳井市立大島図書館（TEL：0820-45-2226）

★児童文学わいわい講座 ～絵本・児童文学についてわいわい楽しく語りあう会です～

○日時：平成28年5月14日（土）10：00～12：00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階第1会議室
○講師：村中 李衣氏（児童文学作家）○定員：約20名 ○照会先：山陽小野田市立中央図書館（TEL：0836-83-2870）

★絵本で子育て応援講座～どんな絵本がいいの？あかちゃんが生れたら～

○日時：平成28年5月14日（土）13：30～15：00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階第1会議室
○講師：村中 李衣氏（児童文学作家）○定員：約30名（要申込み）○照会先：山陽小野田市立中央図書館

★子どもと本大作戦～こどもの読書週間企画 子ども読書会～

○日時：平成28年5月15日（日）13：30～15：30 ○会場：厚狭地区複合施設（山陽小野田市立厚狭図書館）
○講師：長尾 幸子氏（全国SLA学校図書館スーパーバイザー）○内容：絵本の読み聞かせ、読書会、ポスターづくり
○対象：小学生から ○定員：20名（親子での参加大歓迎）○照会先：山陽小野田市立厚狭図書館（TEL：0836-72-0323）